キャラクター名: ソレイユ・ラテ

プレイヤー名:

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り		
生まれ	軽戦士	性別	女性	年齢	6
冒険者Lv	15	経歴	忘れられないほど美味しいものを知っている		
経験点	410		過去に仕えた主がいた		
			一定期間の記憶がない		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	17	器用度	4		15	36	6
		敏捷度	1	3	34	55	9
体	6	筋力	10		11	27 + 2	4
		生命力	7		28	41	6
心	4	知力	7	1	7	19	3
		精神力	7		21	32	5

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	15		
スカウト	15		
レンジャー	10		
エンハンサー	11		
アルケミスト	2		

戦闘特技			
トレジャーハント	2120 p	防具習熟II/非金属鎧	222 p
ファストアクション	2123 p	ディフェンススタンス	IB37 p
影走り	2120 p	防具の達人	IB32 p
トレジャーマスター	3143 p	かいくぐり	IB29 p
匠の技	3143 p	ブロッキング	IB31 p
治癒適正	2122 p		p
不屈	2123 p		p
ポーションマスター	2123 p		p
挑発攻撃	IB37 p		p
回避行動	IB29 p		p
防具習熟/非金属鎧	222 p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
シャドウ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ガゼルフット	
ビートルスキン	
メディテーション	
ラビットイヤー	
ケンタウロスレッグ	
デーモンフィンガー	
リカバリィ	
スフィンクスノレッジ	
ジャイアントアーム	
トロールバイタル	
ヘルシーボディ	
ヴォーパルウェポン	
バークメイル	

名誉アイテム	点数
野伏のそよ吹きマント	20
専用装飾品（怪力の腕輪）	50
専用装飾品（信念のリング）	50
専用スカウト用ツール	50
専用盾（グロリアス）	50
専用非金属鎧（Mアストラルガード）	50
専用武器（エレメンタルブレイド）	50
名誉点 所持 2726 /合計 3046	

技能

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	15	21	24	19
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	Mアストラルガード		9	1	8
盾	グロリアス		15	1	4
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				2	3
回避技能	フェンサー		合計値	28	16

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
エレメンタルブレイド	1H	5		2d+ 21	9	19	10										
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
スカウト用ツール	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
非常食x4	○□□○□□
ぬいぐるみ	○□□○□□
素敵に変身リボン	○□□○□□
魔晶石12点x30	○□□○□□

トリートポーションx30	○□□○□□
マテリアルカード（赤S）x10	○□□○□□
マテリアルカード（緑S）x10	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 41350 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	57 m	171 m

回避	防護点
2d+ 28	16

HP
88

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/×	2d+ 24

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 21	2d+ 25

MP
34

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品		説明
頭		
耳		
顔		
首	奇跡の首飾り	生死判定を振りなおせる
背中	野伏のそよ吹きマント	射撃攻撃に対し回避力判定に+1
右手	怪力の腕輪	筋力+2
腰	多機能ブラックベルト	防護点+1
足	ガイドブーツ	特定の者にしか分からない足跡を残す
その他		

装備品		説明
	迷彩ローブ	隠密判定・尾行判定に+2
左手	信念のリング	精神抵抗力+1
	ブレードスカート	

その他メモ

ソレイユは5歳の時、両親に見限られ街から離れた山道に捨てられてしまう。
路頭に迷い、どうすることも出来なかったソレイユだったが、そこに1人の老婆が手を差し伸べた。
老婆は近くの村に住んでいて、そこで養ってくれることになった。
老婆は料理を作ったり、ソレイユと遊んだり、それはそれは本当の我が子のように育てた。
ソレイユもその老婆を本当の親のように尊敬し、手伝いもかかさなかった。

1年後のある日、蛮族が村に襲撃した。
この村に配備されていた自警団が村を守るために立ち向かったが、この日に現れた蛮族は並の強さではなかった。
自警団は予想外の出来事に驚き、急ぎ街から増援を呼ぼうとしたが街から遠いこの村に到着するには時間が必要だった。
そして村の人々と自警団は蛮族に次々と虐殺されていった。
その虐殺されていく人々を見て怯えていたソレイユに老婆はここから逃げるように伝える。

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟